

# ベンチデザインA案

## 〔いたみのお酒ベンチ〕

伊丹市のブランドイメージである「清酒発祥の地・伊丹」の『澄み酒』の澄んだ一滴の雫の波紋をデザインしました。また、雨上がりのベンチには雨の雫が波紋に沿って落ちる姿が一滴の雫を連想させることから、自然を取り込んだ市庁舎デザインを継承したデザインとなっています。波紋が広がっていくように、伊丹の酒と酒を取り巻く文化が日本中、世界中に広がっていきますようにという願いが込められています。

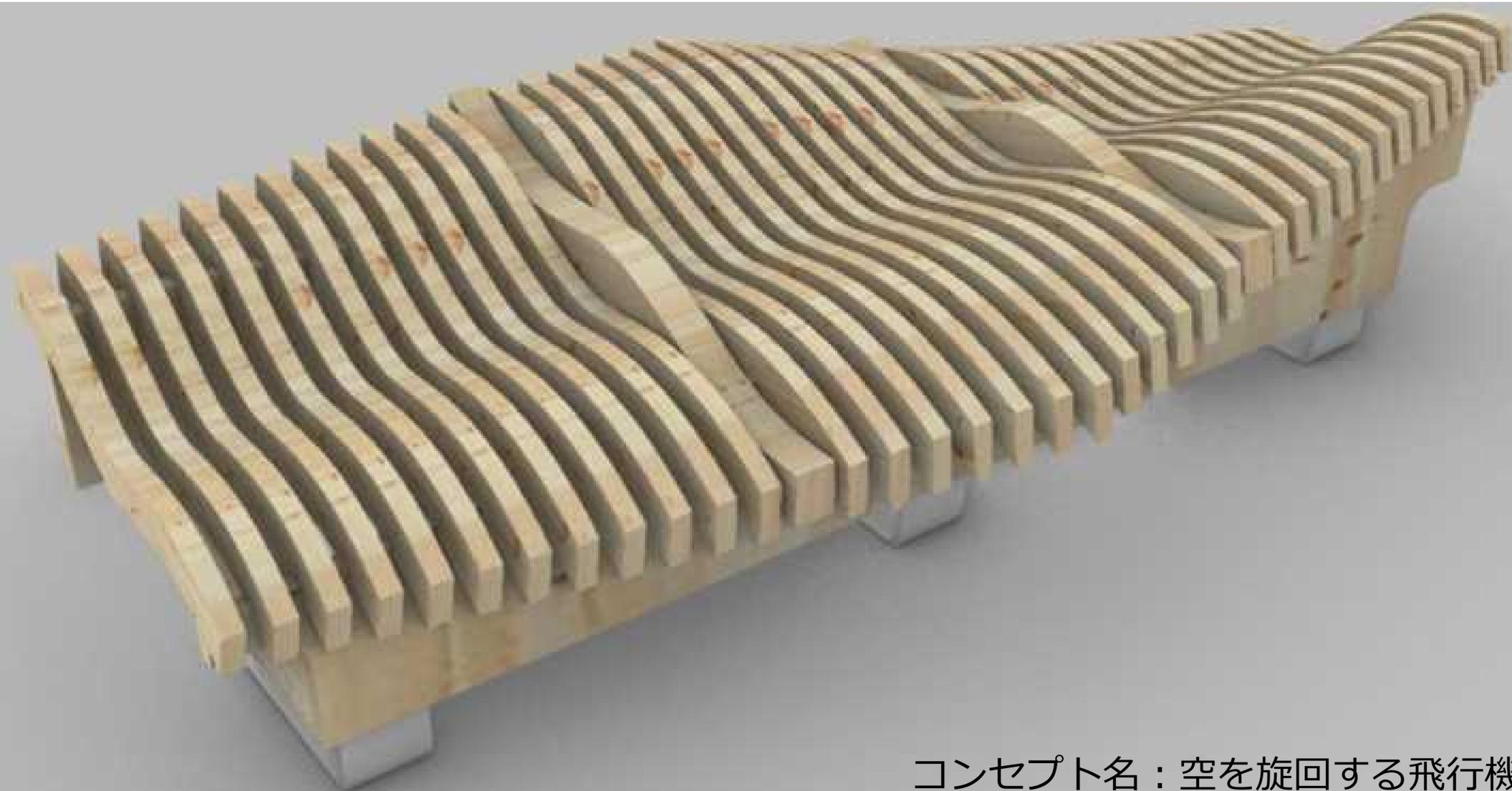


コンセプト名：澄み酒の雫ベンチ

# ベンチデザインB案

## 〔空飛ぶ飛行機ベンチ〕

伊丹市のランドマークである伊丹空港から飛び立つ飛行機が空を旋回する様子をイメージしてデザインしました。伊丹市は、空港を地域の振興とまちの発展に最大限にいかし、夢と魅力のあるまちづくりを進めるため、空港との共生を目指してきました。共に歩んできた地域との温かな思いを緩やかなカーブで表すようにしました。カーブを描く座面は年齢や身長の高低に対応するデザインとし、すのこ状の見た目は軽やかさをイメージし親しみやすくなっています。



コンセプト名：空を旋回する飛行機ベンチ

# ベンチデザインC案

## 〔つながる飛行機雲ベンチ〕

伊丹空港は、これまで、日本中・世界中と繋がる関西のゲートウェイとしての役割を果たしてきました。大阪・関西万博に設置されるこのベンチは、世界中から関西を訪れる皆さまをお迎えする、まさに伊丹と世界とを繋ぐシンボルとなります。世界へ向けて勢いよく飛び立つ姿を飛行機雲で表現し、重なる思いは飛行機雲のように積層するという意味を込めたデザインとなっています。



コンセプト名：世界へ羽ばたくベンチ